

平成27年度～30年度使用小学校用教科書採択一覧

北海道教育大学附属旭川小学校

教科 採択教科書	採択理由（取扱内容、内容の構成・分量等、使用上の配慮等）
国語 教育出版	教材文は、古典的なものから近・現代の作品まで幅が広く扱われている。学校生活で児童が経験したこと・これから経験することに即した内容も多く取り上げられている。各領域別の教材数のバランスがよく、言語活動の内容が具体的に示されており、また、授業者の工夫できる余地が多い。相手意識・目的意識が明確であるなど、児童の学習意欲を高める工夫がされている。
国語（書写） 教育出版	招待状や卒業文集を書くといった、実生活との関連を図った活動を多く取り扱っている。系統的・発展的に学習できるよう工夫がなされ、約3～13%ページ数が増えている。学習のガイダンスをするキャラクターが登場したり（全学年）、国語の教科用図書との関連を図った教材を掲載したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。
社会 教育出版	具体的な事象から、必要な情報を読み取ったり、自分の考えをまとめたりできるように、パンフレットの作成や新聞にまとめるなどの活動が多く取りあげられている。地域の実態に合わせて、取り扱う内容を選択できるなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫がなされている。領土（北方領土、竹島、尖閣諸島）問題や北海道の事例を掲載するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。
社会（地図） 帝国書院	流氷が流れてくる地域を予想したり、北方領土の位置や島名を確認したりするなど、北海道の地域素材を生かした探究的な活動が取り上げられている。日本列島を概観した後に、「資料・統計」を排列するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。地図の活用の着目点を示したり、国名を正式名称として掲載したりするなど、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。
算数 教育出版	全領域において、具体物を用いた操作活動や、ヒントや異なる考え方等に気付くことができる活動が取り上げられている。分数の乗法や除法の学習の後に、小数や分数の計算の定着を図る学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。高学年の「学びのマップ」のページで、前学年までのまとめを示したりするなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。
理科 教育出版	日常生活との関連を図った自然の事物・現象から児童が見いだした問題を計画的に調べ、現象への理解を深められるように単元が構成されている。系統的・発展的に学習できるよう工夫がなされ、約15%ペ

	<p>ページ数が増えている。コラム「科学のまど」では、学んだことと関連した身の回りの話題を紹介し、理科を学ぶ意義を実感し、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p>
生活 教育出版	<p>学習指導要領に示された9項目の内容を、バランスよく単元に位置付けている。多くの動植物などを取り上げ、児童の興味・関心や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるように構成し、発展的に学習できるような工夫がなされている。学習をサポートするキャラクターが活動の視点や注意点を示したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p>
音楽 教育出版	<p>歌唱・器楽・音楽づくり・鑑賞については、〔共通事項〕を適切に位置付けて、基礎的な知識・技能が定着できるように取り扱われている。地域や学校の特性を生かしながら弾力的な扱いのできる構成で、バランスよく関連しながら学習できる適切な分量であり、前回より約3%～11%増となっている。目次の主要教材ごとに活動のポイントを示したりするなど、児童が主体的に取り組めるよう工夫している。</p>
図画工作 日本文教出版	<p>材料を基にした活動、絵・立体・工作、鑑賞が適切に取り上げられている。同じ題材の中でも、扱う材料や作り方等傾向の違う作品を写真や図版で示すなど、児童一人一人の思いに対応している。材料を各内容がそれぞれバランスよく構成・配置され、分量についても適切である。目次の題材名の頭には活動中の写真を載せており、求められる活動の内容が一目で分かるようになっている。</p>
家庭 開隆堂	<p>基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける実習題材を適切に取り上げている。身に付けた知識及び技能を活用する活動を取り上げ、2年間を通して、系統的・発展的に学習できるようになっている。「参考」「発展」などのコラム欄によって、興味・関心をもたせたり、学習のめあてや課題、振り返りを枠囲みで掲載し、学習の見通しをもたせたりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p>
保健 学研	<p>知識・技能を活用する活動が多く取り上げられている。また、北海道の喫煙の資料から、身近な問題から病気の予防について考えられるようになっている。学習を実生活に生かしたり、関連させたりして、系統的・発展的に学習できるように工夫されており、前回より29%～32%増となっている。学習に関する資料を掲載したり、学習課題を示したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p>